



JAPAN AIR SELF-DEFENSE FORCE BANDS

航空自衛隊 音楽隊



Music makes a bridge over the world.

わずか数名の音楽愛好者たちの活動から始まった航空自衛隊音楽隊。
大空を舞う鳥のように自由闊達な気風は、半世紀以上経った今も受け継がれ、
音楽を通じて世界を繋ぐその響きは『フライング・ハーモニー』として親しまれて
います。

since 1961





写真① 航空音楽隊設立前（1957年）浜松基地にてわずか 12 人のスタートだった。

写真② 街頭パレード行進（1961 年）正規に音楽隊が発足し 45 名になった。

写真③ 東京オリンピックでの演奏（1964 年）音楽隊発足後最大の晴れ舞台。

写真④ 1982 年『航空中央音楽隊』に改称。

写真⑤ 東京オリンピックで実際に使用されたファンファーレトランペット。そのうちの 1 本が航空中央音楽隊に現在も大切に保管されている。

写真⑥ 札幌オリンピック（1972 年）。

写真⑦ 東京オリンピック聖火到着式（2020 年）。



航空音楽隊設立の経緯

航空自衛隊の音楽隊は、1955 年、浜松基地の音楽愛好者が集い音楽クラブとして発足したのが始まりです。時を同じくして陸・海自衛隊と同様に、航空自衛隊にも音楽隊創設の気運が高まり、1957 年、陸上自衛隊中央音楽隊から 3 名の転官者を迎え、音楽隊育成のための正規基礎訓練が開始されました。無から有を生じなければならない困難な状況の中、当時の隊員たちは勤務時間中に限らず、夜間も基地内の街路灯の下や広場の隅で必死に練習した甲斐もあり、この頃から小規模ながら栄誉礼の演奏や、一般市民への広報演奏活動に派遣されるようになりました。そして 1958 年に東京都立川分屯基地へ移転。澆刺とした演奏が評価されて演奏機会も次第に増え、1959 年には皇太子殿下御成婚記念祝賀行事に参加するまでに至ります。そして 1961 年 2 月 1 日、ようやく正式に航空音楽隊となりました。

昭和から平成、そして令和へ

航空自衛隊の音楽隊は、近年国際的なイベントや海外での演奏も数多く、様々なメディアに取り上げられるようになりました。

特に航空中央音楽隊は、1992 年には米国のマーチ王スーザゆかりのスーザ財団から『ジョージ・ハワード大佐顕彰優秀軍楽隊賞』をアジアで初めて受賞し、また海外派遣等を通じ世界でも高い評価を受けています。

陸・海自衛隊に 10 年の遅れをとってスタートした航空自衛隊の音楽隊ですが、著名な作・編曲家とも連携し、それまで吹奏楽には無かったジャンルの音楽を斬新なステージ演出と共に積極的に発表する等、自由闊達な気風を持つ航空自衛隊独自のカラーを打ち出してきました。創立より半世紀以上が経った現在も、そのエネルギッシュなスタイルは連綿と受け継がれ、音楽界の注目を集めています。



音楽隊の活動

航空自衛隊を構成している各部隊には多様な職種があり、それぞれに与えられている任務があります。音楽隊もその与えられた任務に基づいて、主として以下のような音楽演奏活動を行っています。

広報演奏



音楽隊は、自衛隊が行う演奏会のほか様々なコンセプトに対応できる柔軟性を備えています。

吹奏楽の力強い響き、リズムが舞い踊るジャズ、軽快な行進曲、颯爽としたパレード演奏。音楽隊は様々な音楽シーンに華を添えます。

また多種多様なニーズに対し、本格的なクラシック音楽、高度な吹奏楽オリジナル作品から、ジャズ、ポピュラーミュージック、流行のヒットチャートまで、豊富なライ

ブラリーと迅速かつ秀逸なアレンジにより、あらゆるジャンルの楽曲に素早く対応することが可能です。

さらに、各地のエデュケーションプログラムにも積極的に参加し、音楽教室や部活動で楽器を演奏している青少年を対象とした吹奏楽講座、楽器に親しむ楽器体験コーナー等を行っています。



CD制作、動画配信、テレビ番組の収録等の活動も行っています。

音楽隊はライブでの演奏のほか、吹奏楽の定番作品やポピュラーアレンジ作品、邦人作曲家による新曲等、幅広いジャンルのCD制作や動画配信、またテレビ番組の収録等も行っています。

従来の『バンド演奏のための参考CD』としての楽しみ方だけではなく、吹奏楽の未知なる可能性を拓ける作品の開拓、吹奏楽ファン以外の方々にもお楽しみいただける企画、SNSでの情報発信等、新たな分野へ妥協のない制作が行われています。



儀式・式典演奏

音楽隊の最も重要な任務として、国家行事における演奏や、外国要人来日時の式典演奏があります。その代表的なものとして、今上天皇即位礼 祝賀御列の儀（2019 年）や御成婚パレード（1994 年）、内閣総理大臣が観閲官として実施する航空観閲式等があります。



隊員士気振作

全国で活動する自衛官の士気振作（士気を鼓舞する・励ます）するため、各基地を定期的に訪問するほか、災害派遣において召集された災害復旧支援隊要員に対し演奏を行っています。



災害派遣

災害派遣に伴う慰問演奏は、2004年に発災した新潟県中越地震において、中部航空音楽隊が航空自衛隊の音楽隊として初めて行いました。また、2011年の東日本大震災においては、岩手・宮城・福島各県で北部・中部・中央音楽隊が延べ約70回の慰問演奏を実施したほか、災害復旧支援隊要員を全国の音楽隊からも派遣し、捜索活動や生活支援に従事しました。



国際的な活動

音楽隊は、発足当時よりアメリカ空軍音楽隊と交流を深め、国際親善を目的とした広報活動を行ってきました。これまで、アメリカ、カナダ、韓国、ドイツ、オランダ、フランス、ベトナム及びスイスへ赴くなど、活躍するステージは海外へも広がっています。



具体的な仕事内容

華やかなステージ演奏。その陰には、高いプロフェッショナル意識を持った隊員たちの地道な努力が積み重なっています。演奏を創り上げているその舞台裏を紹介します。

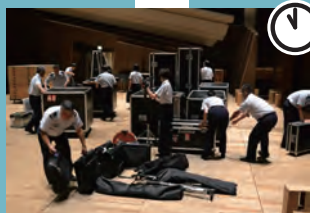
派遣演奏 一日の流れ



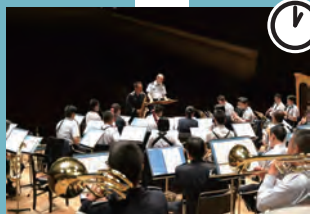
楽器・音響機材等を楽器運搬トラックに積み込みます。音楽隊の女性隊員は力仕事でも男性隊員に引けを取りません。



隊員は専用の大型バスで移動します。バスは専属の輸送隊員が運転しますが、トラックやマイクロバスは主に演奏員が運転します。



会場に到着。バス・トラックから荷物を下ろし、ステージを組み上げた後に昼食をとります。



ウォームアップを行い、リハーサル開始。同時進行で、ステージ係や裏方スタッフは現場担当者と進行・演出の最終調整をします。



リハーサルの後、急いで夕食をとります。それぞれステージ衣装に着替え、身だしなみを整えます。本番までもう少し。



①



②



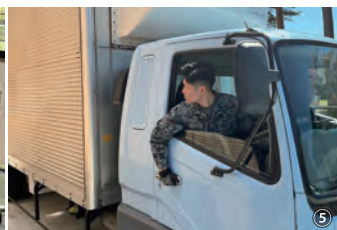
写真①合奏訓練の様子。写真②個人練習室でのパート練習。写真③派遣先との連絡及び食事・宿泊の手配等の調整をする運用係。写真④ミキシング作業をする音響係。一般のスタジオと同様の録音編集設備が整っている。写真⑤楽器運搬トラックを操縦する演奏員。写真⑥パソコンを使用した作・編曲、浄書。写真⑦自衛官の基本、体力練成訓練。写真⑧演奏曲目の立案と楽譜管理をする演奏企画係。



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



①

いよいよコンサート開演。会場によっては開演前にホールのロビー等でミニコンサートを行います。



⑦

コンサート終了後、全員で撤収作業。ステージを片付け、楽器・機材等をトラックに積み込みます。



⑧

バスに乗り込み帰隊。基地到着後荷物を下ろし、後片付けをして一日が終わります。移動距離やコンサートのスケジュールによっては数日間の宿泊を伴うこともあります。

航空自衛隊の音楽隊員になるには

自衛官の採用試験（一般曹候補生もしくは自衛官候補生）に合格すること。

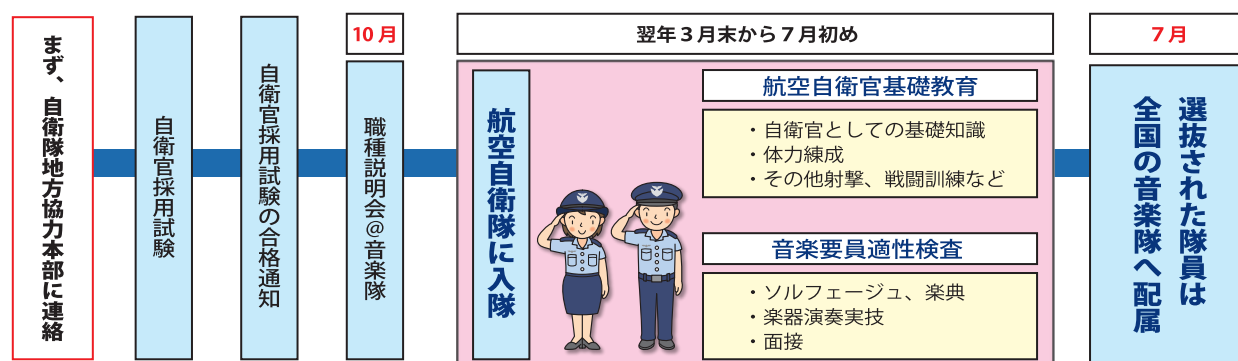
航空自衛隊音楽職種説明会に参加し、音楽隊員としての素養があると認められること。

この2点が必要となります。

採用試験については、各都道府県にある地方協力本へお問い合わせください。

その際、音楽隊志望であることをお伝えください。

自衛官として採用された方は、翌年の3月末頃に熊谷基地（埼玉県）もしくは防府南基地（山口県）いずれかの教育隊に入隊することになります。そこで約3か月間の基礎教育を受けることとなります。その教育期間中に行われる適性検査において選抜された隊員が音楽隊員として全国の音楽隊に配属されます。



※志願区分等、詳細につきましては最寄りの自衛隊地方協力本部にお問い合わせ下さい。

隊員からのメッセージ♪



航空中央音楽隊
オーボエ奏者
空士長 大原 紗知
(昭和音楽大学短期大学部卒業
・令和4年入隊)

入隊前は訓練についていけるかととても不安でしたが、今まで運動をしてこなかった私でもトレーニングの基礎からしっかりと教えてもらい、約3ヶ月間の教育隊を無事に終えることが出来ました。心配しなくても大丈夫ですよ。



航空中央音楽隊
ファゴット奏者
空士長 内田 爽太
(武蔵野音楽大学器楽コース卒業
・令和4年入隊)

入隊前には、毎年夏頃に開催されるインターンシップ（職場体験）に参加すると、音楽隊の施設や合奏の雰囲気を知る事が出来ます。隊員と直接会話して情報を聞けるのは安心ですね。

音楽隊は、式典や慰問演奏、コンサートホールでの演奏の他にもレコーディングや撮影、配信を行うなど、幅広い演奏活動を行っています。全国各地のお客様にたくさんの音楽を届けたい！という方には、とてもやりがいのある仕事だと思います。

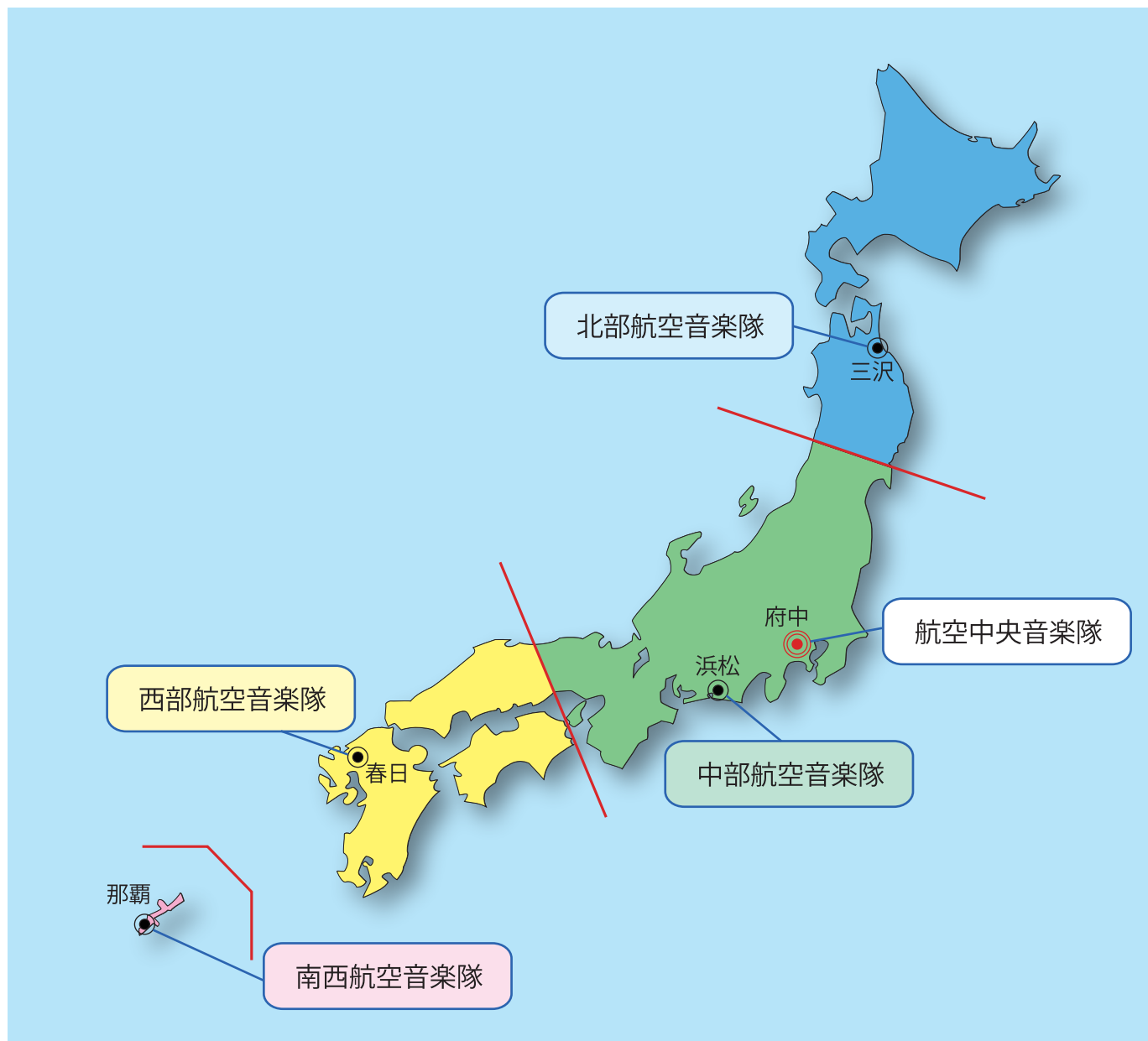


航空中央音楽隊
ハープ奏者
空士長 村上 峻嶺
(長野県小諸高校音楽科声楽専攻
東京音楽大学作曲芸術音楽コース
宮城県公立中学校音楽教員を経て
国立音楽大学大学院ハープ専攻修了
・令和4年入隊)



全国で活躍する5つの音楽隊

航空自衛隊は5つの音楽隊を持っており、
それぞれの活動範囲を中心に全国を網羅しています。



音楽隊
ひとくちコラム

年間演奏回数 約400回!

航空自衛隊の5つの音楽隊は、合わせて毎年約400回の演奏を全国各地で行っています。単純計算では、毎日全国のどこかで演奏していることになります。

隊員たちは旅から旅への生活を送りながらも、より良質な音楽演奏をお届けし、自衛隊と国民の皆様との『かけはし』となるよう日々訓練に励んでいます。





航空中央音楽隊

所在地：東京都府中基地
〒183-8521
東京都府中市浅間町 1-5-5
Tel: 042-362-2971 内線 5950



公式 WEB サイト
<https://www.mod.go.jp/asdf/acb/>



航空中央音楽隊は、1961 年航空音楽隊として東京都立川分屯基地に発足、1982 年航空中央音楽隊となり、防衛大臣直轄の音楽隊として防衛省の式典及び各地での演奏会など年間約 100 回の演奏活動を行っています。これまで今上天皇即位の礼や東京オリンピックをはじめ、数多くの国家行事及び国際イベントに参加しています。

1992 年に世界の優秀な軍楽隊に贈られる「ジョージ S. ハワード大佐顕彰優秀軍楽隊賞」をアジアで初めて受賞し、1995 年には静岡県浜松市で行われた世界吹奏楽大会（WASBE）に出演しました。1999 年に陸海空自衛隊の音楽隊として初めて、カナダで開催された「ノバスコシア国際軍楽祭」に参加するとともに、アメリカのワシントン D.C. においてアメリカ空軍音楽隊と共演、近年では 2018 年にドイツ及びオランダ「ミリタリー・タトゥー」、2022 年にはフランス「アルベールヴィル国際軍楽祭」に参加、また 2023 年にはベトナム防空・空軍音楽隊との合同演奏に派遣、及びスイス「アバンシェ・タトゥー」に参加するなど国際交流にも貢献しています。

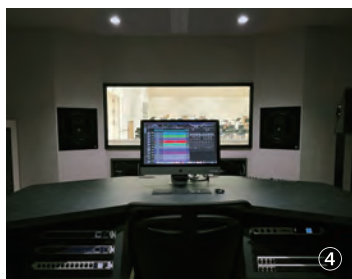


『ジョージ S. ハワード大佐顕彰優秀軍楽隊賞』

航空中央音楽隊は多様な任務に対応するため 2023 年東京都府中基地に移転し、これからも吹奏楽のあらゆる可能性を追求し様々なジャンルの演奏に挑戦し続け、演奏会、SNS、動画配信を通じて国民と自衛隊の架け橋として積極的に活動してまいります。

《施設紹介》

2023 年 3 月完成 地上 3 階建 延床面積 30,360㎡
大小 2 つのホール、練習室、最新の録音設備等、広さ・音響ともに国内トップクラスの練習施設です。



写真①大ホール：残響約 1 秒の設計で、壁と屋根には 4 重の防音が施されておりコンサートホールと同等の静粛性が保たれています。また浮床式のフロアでは約 150 人の聴衆を入れて演奏会も行えます。

写真②小ホール：庁舎 2 階にあるホールで、主にアンサンブル等の練習に使用されます。

写真③個人練習室：大小 23 室あり、ホール同様、防音・音場補正が施されています。

写真④ミキサー室：大ホールに隣接し、最新の録音システムを備えています。

写真⑤録音ブース：ミキサー室に隣接し、アフター録音や小編成の練習室としても使用されます。



北部航空音楽隊

所在地：青森県三沢基地
〒033-8604
青森県三沢市後久保 125-7
Tel: 0176-53-4121 内線 4821

北部航空音楽隊は、1976 年に北部航空方面隊司令官の直轄部隊として、航空自衛隊三沢基地（青森県三沢市）に編成されました。

青森・秋田・岩手及び北海道全域を主な活動範囲とし、防衛省の各種行事、隊員の士気振作の他、各地で航空自衛隊を広報するための演奏会や音楽教室、学生とのジョイントコンサートなど多くの演奏活動を行っています。

また、地域のイベントにも積極的に参加し、その活動の場を広げるとともに、在日米軍（三沢）への行事支援を通じ、米国との友好関係の発展や隊員相互の親睦にも貢献しています。

「心に響く音楽」を皆様にお届けすべく、日々活動を続けている音楽隊です。



定期演奏会（札幌コンサートホール Kitara）



音楽鑑賞教室



三沢基地航空祭



北部航空音楽隊
公式ホームページ



北部航空音楽隊
公式 X



北部航空音楽隊
公式 Instagram



中部航空音楽隊

所在地：静岡県浜松基地
〒432-8551
静岡県浜松市中央区西山町無番地
Tel: 053-472-1111 内線 6735

中部航空音楽隊は、1976 年に中部航空方面隊司令官の直轄部隊として、航空自衛隊浜松基地（静岡県浜松市）に編成されました。

主に東北南部から関西地方までの 1 都 2 府 2 3 県という、自衛隊の方面音楽隊の中で最も広い範囲において演奏活動を行っています。

隊員に対する士気振作演奏をはじめ、入隊・入校式などの各種儀式・式典演奏のほか、大規模スポーツイベントや各自治体からの依頼による演奏会、また学生への音楽鑑賞教室や技術指導なども行っています。

「音楽のまち」浜松から、皆様の心に届く演奏を目指し、日々取り組んでいます。



たそがれコンサート（大阪城音楽堂）



F1 日本グランプリ（鈴鹿サーキット）



中部航空音楽隊
公式ホームページ



中部航空音楽隊
公式 X



西部航空音楽隊

所在地：福岡県春日基地
〒816-0804
福岡県春日市原町 3-1-1
Tel: 092-581-4031 内線 3301

西部航空音楽隊は、1976 年に西部航空方面隊司令官の直轄部隊として、航空自衛隊春日基地（福岡県春日市）に編成されました。九州・中国・四国地方を主な活動範囲として演奏を行っています。

入隊式を始めとする航空自衛隊の各種儀式での演奏、隊員に対する士気振作演奏のほか、博多どんたく港まつりや大相撲九州場所千秋楽等のイベントでの演奏、学生への技術指導や演奏会を各地（離島を含む）で実施しています。

また、様々なニーズに対応できるよう吹奏楽編成の他にアンサンブル編成による演奏もお届けしています。

西部航空音楽隊では国民の皆様に音楽隊をより身近に感じていただけるよう、公式 HP、YouTube チャンネル、各種 SNS を開設しております。ぜひご覧ください。



定期演奏会
(アクロス福岡シンフォニーホール)



大相撲九州場所千秋楽
(福岡国際センター)



西部航空音楽隊
公式ホームページ



南西航空音楽隊

所在地：沖縄県那覇基地
〒901-0144
沖縄県那覇市当間 301
Tel: 098-857-1191 内線 3792

南西航空音楽隊は 1985 年に新編され、南西航空方面隊司令官の直轄部隊として航空自衛隊那覇基地（沖縄県那覇市）を拠点とし、沖縄本島をはじめ鹿児島県奄美大島から日本最西端の与那国島まで約 1,000km にわたって点在する南西諸島の離島各地を範囲として演奏活動を行っています。主に儀式・式典の演奏、隊員に対する士気振作のほか、航空自衛隊の広報活動、米軍との交流など、音楽を通じて国際親善にも貢献しています。

小編成のアンサンブルからビッグバンドまで、地域の様々なニーズに対応できる柔軟な体制を特徴とし、地域皆様に愛される音楽隊として日々活動を続けております。活動情報は各種 SNS より随時更新しておりますのでご覧ください。



那覇基地航空祭



定期演奏会（那覇文化芸術劇場なはーと）



南西航空音楽隊
公式 X



南西航空音楽隊
公式 Instagram

音楽は世界の架け橋

